

こんにちは

“一つ一つ必要なことを
やってきただけ”

前代表 村上真喜子さん(68歳)



もともとは明日病院を退院するのに世話をしてくれる人がいないという男性の要望に応えるかたちで始まったりんりん。

一つ一つ必要なことをやってきただけ何の決まりもなく、主婦としての働きが役に立つならと始めたそうです。以来1994年から18年間りんりんを引っ張ってこられました。

以前、10年ほど高校の売店で働いていました。結婚前の職場も嫌いではなかったけどマンネリを感じてやめたといいます。しかし、めばえ作業所でのボランティアは続けていたそうです。ひとつところに安住するのではなく、何か自分にできることはないかと模索し続ける姿勢が村上さんの芯にあるのでしょう。今困っている人はだれ？困っている課題は何？そして今やらなければいけないことは？それを仲間と共に一つ一つ解決しながら動いているうちに同志との繋がりができ、支えられやってきました。いつも貫いてきたのは“動きがさき、形はあと”でした。今でも「ごんのふるさとネットワーク」という組織で、景観を大切に作る・雇用を生み出す・元気な高齢者のいきがいをつくる、など街の活性化に取り組む活動に特に力を入れています。

りんりんの第一線から離れ3年が経ちました。今嬉しいことは、自分で自分の時間配分ができること、夜2時間読書の時間を持つことだそうです。(T)

そもそも、村上さんの人をそらさない魅力的なお人柄は、どのように形成されてきたのだろうか。これには彼女の「血と土」が大きく関わっているようである。

父は教師だった。特記すべきは母方の祖母で、霊魂は不滅であると信じ、常にこのことを言われた。彼女にもこの「血」につながる不思議なカンの働きが強く、りんりんと深く関わるようになってからも、このカンに助けられた場面が多かったといわれる。

生まれ故郷は青森県で、幼い頃から事あるごとにイタコにうかがってみるといふこの土地ならではの日常の中で暮らしてきた。この頃の暮らしぶりが今日の彼女のカンの源なのであろう。高校を卒業したものの青森には働く仕事がなく、鎌倉で就職した。たまたま、バイカル湖へ行く大きな企画に参加し、旅をする間に知り合ったのが今のご主人だった。

結婚してまず住んだのが知多市の日長台で、その後半田市柵町へ家を建てて引っ越し、ここでりんりんと関わりが生まれることになる。(N)

平成28年(2016) 1月

No.66

発行/特定非営利活動法人 りんりん
半田市岩滑高山町5丁目4番地
TEL(0569)21-3646 FAX(0569)32-6623
http://rinrin.or.jp E-mail npo@rinrin.or.jp

ありがとうございます

皆さまのあたたかいご支援が
りんりんを支えています。

ご寄付ありがとうございます

榊原 照子 水野 陽子 片桐 稲 (敬称略)

りんりんのできごと

- 10月5日 みんなdeアウトドアランチ(りんごクラブ)
- 12月7日 セカンドライフウイーク2015“押し寿司づくり”
- 12月12日 「りんごびあ」開設 お披露目会
” りんりん作品展

～ ヘルパー研修会 ～

- 10月 発達障がいの理解 41名
- 11月 伝えるということ 40名
- 12月 視覚障がい者への支援 44名



10月の研修



多世代交流事業

	10月	11月	12月
生き生きサロン	203名	180名	143名
さをり織り	38名	40名	38名
絵手紙	18名	23名	12名

(延べ利用人数)

会員数

賛助会員	利用会員	協力会員	合計
26名	81名	100名	209名

(H27/12月末現在)

特定非営利活動法人 りんりん



新年おめでとうございます
本年もよろしくお願い申し上げます

去る12月12日の“りんごびあ”お披露目会には、200人を超える方々が足を運んで下さいました。ありがとうございました。岩滑の方がたくさん来て下さったことを何よりうれしく思います。立場は違っても地域と一緒に子育てをしていくことの大切さをこれからも伝え、実践する拠点としての役割を担っていく所存です。

子どもと大人が繋がり、地域で子どもを育てられるまちは、高齢者にとっても住みやすいまちになるはずと確信しています。ごんのふるさとネットワーク・矢勝川の彼岸花・新美南吉生誕の地など地域の財産と防災活動を中心に積み上げてきた岩滑自治区がすでに存在します。ここでは半田市のモデルになるまちづくりがすすめていけると思います。



“りんごびあの「りん」はりんりんのりん、「ご」は子ども、「びあ」は、仲間・みんなが集まるところ、そしてユートピアになったらいいなあという思いを込めて命名しました。

岩滑の“りんごびあ”と呼んでもらえるようになったら嬉しいです。

最後になりましたが、「りんりんがいいよ」とデイサービスやヘルパーを利用して下さる皆様、りんりんの活動を直接担ってくださる協力会員の皆様、そして活動を陰で支えて下さる賛助会員の皆様のおかげで“りんごびあ”建設への思いが叶ったことに心から感謝しお礼申し上げます。

代表 下村 裕子

(株)豊田自動織機様 ボランティアありがとうございました

11月15日(日)(株)豊田自動織機
社会貢献グループ 東知多工場 班
長会・学友会20名の方々が今回8度
目の福祉施設ボランティアに来てくだ
さいました。当日は、良い天気です
普段手の届かない所の作業をしてい
ただき大変綺麗になりました。



作業後は、「りんりん日曜料理グループ」の作った豚汁を食べていただきました。



バッティングゲーム

12月12日(土)「りんごびあ」お披露
目会にもゲームのボランティアで来て
くださいました。バッティングゲームで大人
も子どもも楽しみました。

(株)豊田自動織機の皆様本当にあり
がとうございました。

さをり織り・絵てがみ作品展



さをり織り作品



絵てがみ体験



やなべ小町の小物販売



さをり織り体験



代表あいさつ



もちつき



岩滑おたすけ隊の皆さん



りんごびあ

りんごびあ お披露目会

12月12日(土)に学童保育施設「りんごびあ」のお披露目をしました。県会議員・市会議員・知多半島NPO役員の方々・(株)豊田自動織機の方々・岩滑区の関係者・ご近所のみなさまなど、多くの方が足を運んでくださいました。

つきたてのお餅やお汁粉のふるまいでこの日を祝いました。

「りんごびあ」は、その名前のように、赤ちゃんからご高齢の方までやさしく迎える場所になることでしょう。

お客様の感想です

・上の子がりんごクラブが楽しかったと言ったので下の子も入れました。(父兄)



さかなつりゲーム

・安心して預けられる場所です。(父兄)



わなげ

・子どもを中心に、地域での世代間の交流やまちづくりをしようとするりんりんの考え方が素晴らしいです!(Oさん)

・ここ「りんごびあ」はとにかく温かいです!多くの人に支えられて誕生した場所だということが伝わってきます。(Fさん)

・りんりんは、地域と行政と社会福祉協議会などと手を結んで良いまちづくりをすすめています。このように横の繋がりを大切にするりんりんの姿勢が素晴らしい。(Oさん)

・「りんごびあ」の建物は周りの自然と融合しています。そして人にやさしく造られています。お年寄りも気軽に足を運ぶことができますね!(Fさん)

・りんりんは人を大事にしているといつも感じています。式典で「りんごびあ」の建設に携わった方たちへ感謝状を贈る場面を見て、そのことをさらに実感しました。(Kさん)

・子どもたちのために「りんごびあ」を作ってくださった恩を、子どもたちとの関わりを通して返していこうと思います。ここはみんなのための場所。縦でもなく横でもなく、斜めの関係づくりを大切にしていきたいです。どうぞいつでも気軽に立ち寄ってください。(りんりんMさん)



だんご3姉妹